

平成22年度 情報システムの分析・検討・設計等に係る  
資金管理法における特定再資源化預託金等の充当額について

「情報システムのあり方の検討」については、平成21年12月開催の第32回資金管理業務諮問委員会にて、自動車ユーザーへの説明責任を果たす観点から資金管理人が情報システムの分析・検討・設計等を平成21年度及び平成22年度に実施すること、及びそれに要する費用は特定再資源化預託金等から充当することを承認いただいた。なお、平成22年度の費用については平成22年3月に開催される第33回資金管理業務諮問委員会において確定した費用を提示することとしていたところ。

この度、平成22年度の情報システムのあり方の検討に要する費用の総額が71,400千円であることが確定したので、平成22年度の情報システム利用費に関する按分比率(注1参照)による資金管理人の次の負担額について、特定再資源化預託金等から充当することを審議・承認いただきたい。

(千円:税込み)

平成22年度

**53,815**

(内訳)

作業内容	期間	費用(千円)
詳細な技術仕様の検討、予想費用等の策定	2010年6月末まで	25,768
技術仕様の検証、移行後の効果予測、実施計画の策定	2010年7月以降	45,632
合計		71,400

差額は按分比率に従って、他法人である一般社団法人自動車再資源化協力機構及びASRチーム(TH、ART)により負担される。

なお、現情報システムの分析・検討・設計等の経過報告は「別紙」のとおりであり、本報告は平成22年6月開催予定の第36回資金管理業務諮問委員会で実施する。

注1 情報システム利用費に関する按分比率(平成22年度分)

情報システム利用費の負担の考え方は、前年度の関係法人機能毎の処理件数とデータ量、プログラム規模(ステップ数)を組み合わせた業務比例配分方式で按分比率を決定している。今般の情報システムのあり方の検討についても、この按分比率を用いる。

利用者情報	按分率
指定3法人業務(資金管理人、指定再資源化機関、情報管理センター)	75.37%
一般社団法人自動車再資源化協力機構	12.46%
ASRチーム業務(THチーム)	5.93%
ASRチーム業務(ARTチーム)	6.24%
合計	100.00%

以上